

授業科目 (ナンバリング)	コミュニケーション技術(介) (DA216)			担当教員	久田 貴幸		
展開方法	演習	単位数	1 単位	開講年次・時期	2 年・前期	必修・選択	選択 (介護必修)
授業のねらい							アクティブ・ラーニングの類型
介護を必要とする者の理解や援助的関係、援助的コミュニケーションについて理解するとともに、利用者やその家族の状況・状態について、あるいは多職種協働におけるコミュニケーション能力、専門的な知識を修得・身につけることをねらいとする。その必要な知識や技術を学生双方が、利用者役や介護者役などを通じた演習や様々な機会実践しながら、自分なりの方法で表現するスキルを身につける。							①④⑤
ホスピタリティを構成する能力	学生の授業における到達目標				評価手段・方法	評価比率	
専門力	コミュニケーションに係る内容を説明することができる。				定期試験	50%	
情報収集、分析力	コミュニケーションに係る情報を収集し、それらを分析し、自己の課題について明確化することができる。				課題レポート	10%	
コミュニケーション力	ホスピタリティの精神に基づいて、他の人の意見を傾聴するとともに、コミュニケーションに係る課題について自分の意見を明確にした上で、相互理解を図る議論に参加できる。				課題レポート 課題演習	10% 10%	
協働・課題解決力	コミュニケーションに係る課題を的確に把握し、他の人と協力して課題解決に向けた方策を立案し、実行する営みに寄与することができる。				演習の発言内容・適切性・正確性	20%	
多様性理解力							
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
<p>定期試験、演習課題、課題レポートにより総合的に評価する。</p> <p>課題レポート(評価比率 20%)は、コミュニケーションに関するポイントや知識など、授業内容をまとめたものとする。</p> <p>定期試験(評価比率 50%)は、筆記試験を行う。コミュニケーション技術についての基礎知識と技術について問う。</p> <p>課題演習の評価(評価比率 30%)は、演習課題に適した援助者としての姿勢や態度・発言内容について評価する。</p> <p>なお、発表内容に関しては、授業内にコメントの形でフィードバックを行う。</p>							
授業の概要							
<p>介護におけるコミュニケーションの基本(意義・目的・役割)、介護場面における利用者・家族とのコミュニケーション、介護におけるチームのコミュニケーション、介護を展開する際に必要なコミュニケーションの知識と技術について講義・演習を展開する。1年後期の「相談援助演習Ⅰ」の内容も再確認する。</p> <p>この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分である。</p>							
教科書・参考書							
<p>教科書：最新・介護福祉士養成講座5 『コミュニケーション技術』 中央法規 発行者：荘村明彦</p> <p>指定図書：介護福祉士国家試験 受験ワークブック2018上 中央法規</p>							
授業外における学修及び学生に期待すること							
<p>この科目は、介護福祉士指定科目「コミュニケーション技術」60時間の内の30時間(必須)です。介護福祉クラスの学生は必ず受講してください。1年後期「相談援助演習Ⅰ」の知識と技術を統合させて下さい。</p> <p>演習とボランティアには積極的に参加をして、修得した内容を展開させて、実習を常に意識をしてください。</p>							

回	テーマ	授業の内容	予習・復習
1	介護におけるコミュニケーションの基本①	介護におけるコミュニケーションの意義や目的を理解する。	予習：シラバスを読み、本教科の内容を理解する。 復習：
2	介護におけるコミュニケーションの基本②	介護におけるコミュニケーションの対象と援助関係について理解する。	予習：コミュニケーションの対象について調べる。 復習：対象と援助関係について整理する。
3	コミュニケーションの基本技術①	対人関係における言語・非言語コミュニケーションや態度について理解する。	予習：言語・非言語コミュニケーションを調べる。 復習：言語・非言語コミュニケーションを整理する。
4	コミュニケーションの基本技術②	目的に応じたコミュニケーションの取り方や集団を対象としたコミュニケーションについて理解する。	予習：集団に対するコミュニケーションを調べる。 復習：集団に対するコミュニケーションを整理する。
5	対象者の特性に応じたコミュニケーション①	視覚障害・聴覚障害のある人とのコミュニケーションについて理解する。	予習：視覚障害・聴覚障害について調べる。 復習：障害に応じたコミュニケーションを整理する。
6	対象者の特性に応じたコミュニケーション②	構音障害・失語症のある人とのコミュニケーションについて理解する。	予習：構音障害・失語症について調べる。 復習：障害に応じたコミュニケーションを整理する。
7	対象者の特性に応じたコミュニケーション③	認知症のある人とのコミュニケーションについて理解する。	予習：認知症の中核症状と周辺症状について調べる。 復習：障害に応じたコミュニケーションを整理する。
8	対象者の特性に応じたコミュニケーション④	うつ病（抑うつ状態）・統合失調症のある人とのコミュニケーションについて理解する。	予習：うつ病・統合失調症について調べる。 復習：障害に応じたコミュニケーションを整理する。
9	対象者の特性に応じたコミュニケーション⑤	知的障害・発達障害・高次脳機能障害のある人とのコミュニケーションについて理解する。	予習：知的・発達・高次脳機能障害について調べる。 復習：障害に応じたコミュニケーションを整理する。
10	対象者の特性に応じたコミュニケーション⑥	重症心身障害のある人とのコミュニケーションについて理解する。	予習：重症心身障害について調べる。 復習：障害に応じたコミュニケーションを整理する。
11	家族とのコミュニケーション	家族との関係づくりと家族が抱える介護ストレスへの対処について理解する。	予習：家族が抱える介護ストレスについて調べる。 復習：ストレスへの対処を整理する。
12	介護におけるチームのコミュニケーション①	チームのコミュニケーションの基本と報告・連絡・相談の重要性を理解する。	予習：報告・連絡・相談を調べる。 復習：重要性を整理する。
13	介護におけるチームのコミュニケーション②	介護において必要とされる記録の種類と記述方法について理解する。	予習：介護記録を調べる。 復習：記述方法の整理
14	介護におけるチームのコミュニケーション③	会議における議事の進行や事例検討に関する技術について理解する。	予習：会議について調べる。 復習：進行等を整理する。
15	まとめ	これまで学んできた介護におけるコミュニケーションについてのまとめ。試験問題について説明する。	復習：教科書やノートを確認し定期試験に備える
16	定期試験	筆記試験を行う。	筆記試験の準備